

令和6年2月20日

報道機関 各位

硫黄島からの手紙 ～大田市出身の戦没者・遺族の思い～【 3/9 】

島根大学法文学部社会文化学科学生によるフィールドワーク(地誌学Ⅱ)成果発表会

◆本件のポイント！

- ・大田市内で初めて発見された硫黄島からの手紙を学生が解読。
- ・硫黄島からの手紙は全国的にあまり残っていない。
- ・手紙の筆者が、硫黄島から一度本土に戻ってきており、珍しい。
- ・手紙を通じて、戦没者と遺族の思いを踏まえ、平和について考える。

◆本件の概要

法文学部社会文化学科学生によるフィールドワーク成果発表会を大田市内で初めて開催します。フィールドワークでは大田市内で初めて「硫黄島からの手紙」を発見し、学生が中心となり、解読、研究しました。手紙の分析結果を通じて、激戦硫黄島の戦いで戦没者と遺族の思いを分析し、平和について考えます。



◆概要内容

- 【日 時】令和6年3月9日(土) 13:30～15:00
【場 所】島根県立男女共同参画センター「あすてらす」3階 研修室6
【定 員】先着50人

◆本件の連絡先

島根大学 法文学部 社会文化学科 地理学研究室
船杉 力修 教授

◇その他

これまで学生とともに、松江市浜乃木の善光寺にある、島根県の硫黄島戦没者の供養塔及びその関連資料を分析し、その研究成果を本学及び松江市内の公民館で発表を行い、発表会の様子がテレビのニュース、新聞で大きく報道されました。

【添付資料： あり(1枚) なし】